

# 令和7年度 歯科衛生学科 カリキュラムマップ

## 到達指標

- [知識・理解] 全身的観点から口腔の健康支援ができるための専門的な知識や医療人として社会に貢献していくための知識を修得することができる。
  - 全身と口腔の健康の関連を医学的に説明できる。
  - 口腔疾患を予防し、口腔保健を向上させるために必要となる基本的な知識を身につけることができる。
  - 歯科衛生士としての専門性に繋がる教養の基本的知識を修得し、応用ができる。
- [思考・判断・表現] 歯科衛生士として人々の健康問題の解決に向けて、生物・心理・社会的な観点から論理的に考え方判断ができる、さらに適切な説明ができる。
  - 歯科保健・医療・福祉の専門分野を学ぶための基本となる総合的な思考力や判断力、表現力の基礎を培うことができる。
  - 人々の健康に関する実際の問題の解決に向けて、科学的な根拠に基づいて論理的に考えることができる。
  - 歯科医療場面での正しい判断を、医療倫理の観点から検討することができる。
- [技能] 歯科衛生士としての基本的な操作的技術能力やプレゼンテーションする力があり、他職種と協働・連携するチーム医療が理解でき、患者や地域社会とも関わるコミュニケーション能力がある。
  - 口腔の健康やリスクを評価し指導計画を立て、対象者に説明できる。
  - 口腔疾患の予防のための基本的な施術や適切な口腔衛生指導が実施できる。
  - 歯科医療におけるチームワークの重要性を理解し、他の医療従事者との連携ができる。また、地域歯科保健の維持・向上のため、地域住民の視点に立ちコミュニケーションがとれる。
- [関心・意欲・態度] 医療人としての自己管理ができ、将来に向けての職業的使命感を持ち、自らが関心と意欲を持って地域との連携や社会貢献を推進していくことができる。
  - 人々の口腔の健康を守ることで、人の心と体を守ることに寄与する歯科衛生士の職責への十分な自覚を持ち、医療人としての自己管理のもとに対象者本位の立場で対応ができる。
  - 歯科医療において自ら問題点を探し出し、関心と意欲をもって解決するための力を培うことができる。
  - 地域社会に貢献する歯科衛生士の使命感を持って積極的に行動できる。

1. [知識・理解]		2. [思考・判断・表現]		3. [技能]		4. [関心・意欲・態度]	
<b>1年次</b>							
専門科目	期	科目名	1.	2.	3.	4.	
前期	前期	解剖学	◎	○	—	○	
		生理学	◎	—	—	△	
		口腔解剖学 I	◎	○	—	○	
		病理学	◎	○	—	○	
		微生物学	◎	◎	—	△	
		口腔衛生学 I	◎	—	—	△	
		歯科衛生士概論	◎	—	—	○	
		歯科臨床概論	◎	—	—	△	
		歯周病予防技術法 I	◎	△	◎	△	
		歯科保健指導基礎	◎	△	—	○	
	後期	診療補助総論	◎	—	—	○	
		診療補助基礎 I	◎	△	◎	△	
		口腔解剖学 II	△	△	△	△	
		薬理学	◎	—	—	△	
		栄養生化学	◎	○	—	○	
専門科目	前期	口腔衛生学 II	◎	—	—	△	
		小児歯科学	◎	—	—	△	
		歯科放射線学	◎	—	—	△	
		歯周病予防基礎	◎	—	—	△	
		歯周病予防技術法 II	◎	△	◎	△	
		う蝕予防処置法 I	◎	△	—	△	
		保健指導法 I	◎	○	—	○	
		発達口腔保健学	◎	△	△	△	
		コミュニケーション演習	◎	○	—	○	
		診療補助基礎 II	◎	△	◎	△	
	後期	3年次	①	②	③	④	
		歯科総合演習 I	◎	—	—	—	
		口腔健康支援法	◎	○	△	△	
		地域歯科保健活動 II	◎	○	△	○	
		臨床・臨地実習 II	◎	—	◎	○	
専門科目	前期	臨床・臨地実習 V	◎	—	—	○	
		卒業研究	◎	○	○	○	
		歯科総合演習 II	◎	—	—	—	
		臨床・臨地実習 III	◎	—	◎	○	
		歯科医学特講	◎	—	—	—	